

## 8.4 緑

### 8.4.1 調査事項

調査事項は、表 8.4-1 に示すとおりである。

表8.4-1 調査事項

区 分	調査事項
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江東区みどりの条例における緑化基準及び東京都再開発等促進区を定める地区計画の運用基準に示された緑化基準を満たす緑地を確保する計画としている。</li> <li>・既存の大径木・樹林地に配慮し、極力樹木を保存する計画としている。</li> <li>・伐採エリア内の大径木については、優先順位を付けて移植を検討する。検討に当たっては、樹木診断等を行い、生育不良木や枯死木など健全度が低いものや、植生に影響を及ぼすおそれのある外来種を中心に伐採することとし、ケヤキやクスノキ等の樹勢や樹形の良いものなど移植に適した樹木を選定した上で、樹木の生育環境として適切な密度で移植を行うこととする。</li> <li>・計画地外周部については、既存高木を最大限保存するよう配慮し、必要に応じて補植を行いバッファー機能の向上を図るとともに、歩道状空地の整備のうち、主に北側から東側にかけては新植により高木を主体とした緑量のある植栽とし、周辺との緑のネットワーク形成に配慮する。</li> <li>・オープンな芝生広場を中心として、公園利用者の活動エリアは足元の抜けた高木疎林を基本とし、外周部はバッファーとしての多層構成の樹林とする。</li> <li>・芝生広場は、移植・伐採後に約7,000m<sup>2</sup>の張芝を行うことで、まとまった芝生広場を引き続き確保する計画としている。</li> <li>・十分な植栽基盤（土壌）の必要な厚みを確保する。</li> <li>・移植後は、樹木養生を実施するほか、適宜散水や施肥を実施する計画としている。</li> <li>・移植の実施状況については、フォローアップで確認する。</li> </ul>

### 8.4.2 調査地域

調査地域は、計画地とした。

### 8.4.3 調査手法

調査手法は、表 8.4-2 に示すとおりである。

表8.4-2 調査手法

	調査時点	工事の施行中とした。
調査期間	ミティゲーションの実施状況	工事の施行中の適宜とした。
調査地点	ミティゲーションの実施状況	計画地とした。
調査手法	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)及び関連資料(建設作業日報等)の整理による方法とした。

## 8.4.4 調査結果

## (1) 調査結果の内容

## 1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.4-3(1)及び(2)に示すとおりである。なお、緑に関する問合せはなかった。

表8.4-3(1) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>江東区みどりの条例における緑化基準及び東京都再開発等促進区を定める地区計画の運用基準に示された緑化基準を満たす緑地を確保する計画としている。</li> </ul>	<p>緑地の整備状況については今後確認し、今後のフォローアップ報告書において報告する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>既存の大径木・樹林地に配慮し、極力樹木を保存する計画としている。</li> </ul>	<p>既存の大径木・樹林地に配慮し、樹木の約2,000本の保存に努めるほか、ケヤキやクスノキ等の樹勢や樹形の良いものなど移植に適した樹木約80本を選定した上で、樹木の生育環境として適切な密度で移植を行った。(写真8.4-1)。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>伐採エリア内の大径木については、優先順位を付けて移植を検討する。検討に当たっては、樹木診断等を行い、生育不良木や枯死木など健全度が高くないものや、植生に影響を及ぼすおそれのある外来種を中心に伐採することとし、ケヤキやクスノキ等の樹勢や樹形の良いものなど移植に適した樹木を選定した上で、樹木の生育環境として適切な密度で移植を行うこととする。</li> </ul>	<p>伐採エリア内の大径木について、平成28年9月に樹木調査を行い、場内にて移植保存する樹木を選定した。その他は、マテバシイやトウネズミモチ等の生育不良木、枯損木、外来種を中心に約1,060本を伐採した。移植場所は、図8.2-1(p.50参照)に示すとおりであり、計画地南東の敷地境界及び芝生広場等とした。主な移植樹種は、ケヤキ、クスノキ、クロマツ、タギョウショウ、コナラ、ヒヨクヒバ、アキニレ、サクラ、サザンカ、マテバシイ、ヤブツバキ、ヤマモモ等であり、大径木は、ケヤキ、クスノキ、コナラ等約40本の移植を行った(写真8.4-2及び3)。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>計画地外周部については、既存高木を最大限保存するよう配慮し、必要に応じて補植を行いバッファー機能の向上を図るとともに、歩道状空地の整備のうち、主に北側から東側にかけては新植により高木を主体とした緑量のある植栽とし、周辺との緑のネットワーク形成に配慮する。</li> </ul>	<p>計画地外周部については、既存の大径木・樹林地に配慮し、樹木の保存に努めた。有明コロシアムの外周の植栽帯には、サツキツツジ、ヒラドツツジ、クルメツツジ、オオムラサキツツジ、計約5,200株、計画地南東側には、ドウダンツツジ及びクルメツツジ、計約700株を植栽した他、主に計画地南東側の歩道状空地周辺にはコブシ、トベラ、ウバメガシ等の高中木を約60本補植し、緑量のある植栽とした。また、北側については歩道上空地と干渉しない高木群は最大限保存し、大会後整備する東側歩道上空地の交差点付近の角地には既存高木に加えて移植高木による緑量の確保に努め、周辺の緑とのネットワーク形成を図る。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンな芝生広場を中心として、公園利用者の活動エリアは足元の抜けた高木疎林を基本とし、外周部はバッファーとしての多層構成の樹林とする。</li> </ul>	<p>芝生広場の整備状況については今後確認し、今後のフォローアップ報告書において報告する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>芝生広場は、移植・伐採後に約7,000m<sup>2</sup>の張芝を行うことで、まとまった芝生広場を引き続き確保する計画としている。</li> </ul>	<p>芝生広場の整備状況については今後確認し、今後のフォローアップ報告書において報告する。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>十分な植栽基盤(土壌)の必要な厚みを確保する。</li> </ul>	<p>植栽基盤の整備については、移植樹木の根鉢が収まり、かつ、強風時にも倒れない根張りを確保できる基盤厚を確保して整備した。</p>

表8.4-3(2) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	実施状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移植後は、樹木養生を実施するほか、適宜散水や施肥を実施する計画としている。</li> </ul>	<p>移植樹木は、乾燥防止対策等のため幹を養生した。移植地には施肥を実施し、移植後は十分な散水を行った。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・移植の実施状況については、フォローアップで確認する。</li> </ul>	<p>移植は、根をできる限り切断しないよう掘り取り、根巻きを行った。トラックで運搬し、基盤整備した移植先へ植付を行った。</p>



写真 8.4-1 芝生広場南側移植状況（クスノキ）



写真 8.4-2 芝生広場移植樹木（クスノキ）



写真 8.4-3 計画地北側移植樹木（ケヤキ）